



芳賀 力 (はが つとむ)

① 1979年東神大大学院卒。独ハイデルベルク大学神学部博士課程卒(神学博士)。日本基督教団正教師。1987年着任。現在、教授。
② キリスト教組織神学(教義学、倫理学、弁証学)。現在『神学の小径―啓示への問い』、『神学の小径Ⅱ―神への問い』で、キリスト教信仰の新しい体系的考察に取り組んでいます。物語る教会を土台にした教会の教え(教理)の再構築です。③組織神学、組織神学演習など。



朴 憲郁 (ハク ホンウク)

① 1974年東神大大学院卒。監理教神学大学院修。韓国イエス教長老会神学大学院卒。独チュービンゲン大学神学部博士課程卒(神学博士)。在日大韓基督教正教師(現在、日本基督教団への宣教師)。1994年着任。現在、教授。
② キリスト教教育、アジア・キリスト教伝道学、新約神学。
③ キリスト教教育概論、アジア伝道論演習、キリスト教教育特講など。



中野 実 (なかの みのる)

① 1987年東神大大学院卒。米クレアモント大学院大学宗教学部博士課程卒(哲学博士)。日本基督教団正教師。2001年着任。現在、教授。
② これまで信仰と歴史の関心に神学的関心を抱きつつ、史的イエス研究、福音書研究に従事。現在、ヘブライ書の研究も開始し、註解書を執筆中です。
③ 新約聖書神学、新約聖書釈義、新約聖書学特講など



関川 泰寛 (せきかわ やすひろ)

① 英エディンバラ大学神学部卒。1983年東神大大学院修士課程卒(神学修士)。日本基督教団正教師。1996年着任。現在、教授。
② 古代教会史、教父学など。古代の教会史・教理史の研究をしています。4世紀の正統と異端の論争、教理と礼拝や霊性との関係、キリスト論や三一論の形成など。主著に『アタナシオス神学の研究』があります。
③ 教会史、教理史演習など。



パストラル・ケア担当
ウェイン・ジャンセン (Wayne Jansen)

① 米ウェスタン神学大学院博士課程卒(牧会学博士)。米国改革派教会正教師(現在、日本基督教団への宣教師)。2002年着任。現在、教授。
② 学生の相談を受けるパストラル・ケア・センターの室長です。「臨床牧会教育」を担当し、受講者が自らの個人的な課題を把握することを通し、より有能な牧会者になることが目的です。
③ 牧会心理学、臨床牧会教育、教会実習など。



須田 拓 (すだ たく)

① 2000年東神大大学院卒。英ケンブリッジ大学神学部留学。東神大博士課程修了(神学博士)。日本基督教団正教師。2013年着任。現在、常勤講師。② 神が三位一体のお方であることが信仰全体にどのように影響しているかや、神の御業と人間の自由の関係について、また17世紀イギリス・ピューリタン神学の現代における意義について研究しています。
③ 組織神学、組織神学演習、キリスト教通論など



大住 雄一 (おおすみ ゆういち)

① 1983年東神大大学院卒。独ペーテル神学大学卒(神学博士)。日本基督教団正教師。1990年着任。現在、教授。
② トーラーの解釈。旧約を読むと、律法は人を縛るものではなく、喜びであり、恵みとして讃美されています。律法とは何でしょう。教会でもその恵みを共に味わいたい。その恵みを探る研究です。
③ 旧約聖書神学、旧約聖書原典釈義など。



神代 真砂実 (こうじろ まさみ)

① 1987年東神大大学院卒。英アバディーン大学神学部博士課程卒(哲学博士)。日本基督教団正教師。1998年着任。現在、教授。
② 教義学、特にカール・バルトの神学思想。キリスト教の信仰内容を体系的に関連づけたり、現代社会とキリスト教との関係を考える分野が専門です。「ミステリとキリスト教」ということさえ扱えます！
③ 神学通論、組織神学、組織神学演習など。



焼山 満里子 (やきやま まりこ)

① 1997年東神大大学院卒。米クレアモント大学院大学宗教学部博士課程卒(哲学博士)。日本基督教団正教師。2007年着任。現在、准教授。
② 新約聖書、特にパウロ研究。パウロの伝道、教会形成について、またパウロ教会を中心とした初期キリスト教思想形成を研究しています。
③ 新約聖書神学、新約聖書釈義など。



教職課程担当
長山 道 (ながやま みち)

① 2002年東神大大学院卒(神学修士)。現在、独ボン大学神学部博士課程在籍。日本基督教団正教師。2013年着任。現在、常勤講師。
② キリスト教教育学、組織神学。「すべてのキリスト教教育は信仰への道である」というコンセプトのもと、福音伝道としてのキリスト教教育に実践神学的・組織神学的にアプローチします。
③ 教育基礎論、独語神学書講読(組織)など



棚村 重行 (たなむら しげゆき)

① 1977年東神大大学院卒。米シカゴ大学神学部博士課程卒(哲学博士)。日本基督教団正教師。1993年着任。現在、教授。② 19世紀アメリカ神学思想史、19世紀日本プロテスタント神学思想史など。2009年に「二つの福音は法溝を越えて」を出版しました。現在は、「二つの福音は山河を越えて」というテーマで、日米神学思想一関係史の研究を続けています。2014年度には「英米日・福音主義の歴史」というゼミも開講します。霊的生活史では、三位一体の神の像とその回復を主題とし、学びを続けています。③教会史、教会史特講など。



小友 聡 (おとも さとし)

① 1986年東神大大学院卒。独ペーテル神学大学卒(神学博士)。日本基督教団正教師。1999年着任。現在、教授。
② 旧約聖書およびユダヤ教の黙示思想など。旧約聖書の中で後期の文学が研究領域。コヘレトの言葉やダニエル書など周辺的な文書から旧約(ユダヤ教)の思想や倫理を探求しています。コヘレトの言葉と黙示思想の関係に関心があります。
③ 旧約聖書神学、旧約聖書原典釈義など。



小泉 健 (こいずみ けん)

① 1997年東神大大学院卒。独ハイデルベルク大学神学部博士課程卒(神学博士)。日本基督教団正教師。2008年着任。現在、准教授。
② 説教学、教会建設論など。宗教改革者は教会を「御言葉の創造物」と呼びました。説教が教会を建設するとはどういうことかを、改めて探求しています。そこから教会のあらゆる営みへと課題が広がります。
③ 実践神学概論、説教学演習など。